

外食産業バイオマス利用中央協議会総合推進事業 地域フォーラム in TOKYO

外食店舗における国産間伐材を利用した割り箸の活用と

環境取り組みの可能性

—「割り箸」について考える—

いま、基本に立ち返ることで見えてくる地球温暖化への取り組みの近道
外食産業を中心に地域の多様な関係者との連携による新たな事業モデルの展開
その具体的な「カタチ」についてご紹介してまいります

農林水産省の補助事業である外食産業バイオマス利用実験事業では、全国4つのモデル地区において、外食事業者等との協働のもと、割り箸リサイクルの実験・実証事業が行われています。その一方で、持続的な事業推進に向けては、克服すべき課題も数多く存在しています。

そこで本地域フォーラムでは、割り箸のリサイクルのみならず、割り箸の原材料供給源であり、CO₂の吸収源としても注目される我が国の森林資源にまで関心の範囲を広げ、割り箸をきっかけとした環境問題への取り組みとして4つのモデル地区の事例をご紹介しつつ、地域における取り組みを促進するための実践的なヒントを提供することをねらいとしています。

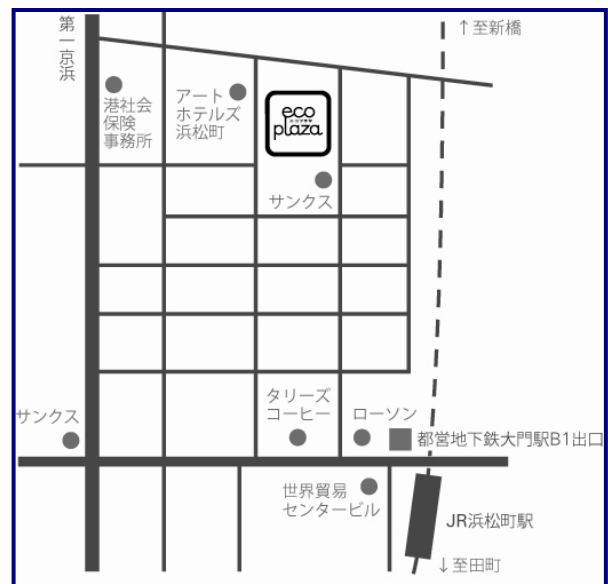
割り箸を使う外食産業や関連する事業者の方々に限らず、幅広く環境問題に取り組む市民団体や自治体など行政関係の方々、問題意識の高い大学生・大学院生、そして市民の方々のご参加をお待ちしております。ふるってご参加下さい。

開催日 2010年3月8日(月)

入場料 無料

開催時間 12時30分 受付開始
13時 開演
15時30分 終了予定
(進行状況により多少前後します)

開催場所 港区立エコプラザ 1階ラーニングルーム
港区浜松町 1-13-1
◎ JR浜松町駅北口下車4分
◎ 都営地下鉄大門駅B1出口下車3分
※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。



プログラム

- 解説 「環境問題への取り組みに役立つ地域事業スキームの可能性」
株式会社日本総合研究所 総合研究部門
- 事例紹介 (仮)「間伐材割り箸の供給・回収・リサイクルシステム(東京都港区)」
毎日アースデイ株式会社

会場との双方向ディスカッション

※ 具体的な取り組みを目指して活動している皆様のご疑問・お悩みに対してともに考えてまいります

特別講義 (仮)「地域における外食店舗の国産割り箸活用のインパクト」

森林ジャーナリスト 田中 淳夫氏

1959年(昭和34年)大阪府生まれ。奈良県在住。静岡大学農学部林学科卒業後、出版社、新聞社等勤務を経て、現在フリーのジャーナリスト。主に森林・林業や田舎暮らしをテーマにした執筆活動を行う。『森を守れ』が森を殺す』(新潮 OH!文庫)、『里山再生』『だれが日本の「森」を殺すのか』(洋泉社)、『日本の森はなぜ危機なのか』『田舎で起業!』『田舎で暮らす!』『森林からのニッポン再生』(平凡社新書)、『割り箸はもったいない?』(ちくま新書)、『森を歩くー森林セラピーへのいざない』(角川 SSC 新書)など多数。

お問い合わせ

株式会社 日本総合研究所 〒102-0082 東京都千代田区一番町 16 番
TEL 03-3288-5375 FAX 03-3288-5540 e-mail 20010-waribashi-recycle@mljri.co.jp
URL <http://www.jri.co.jp/>